

ごみ集積所のカラス対策について



はじめに

近年、カラスがごみ集積所に出されたごみを荒らすので困っている、とのご相談を多くいただいています。カラスは学習能力が高く雑食性のため、市街地では生ごみや残飯をエサとして暮らしています。

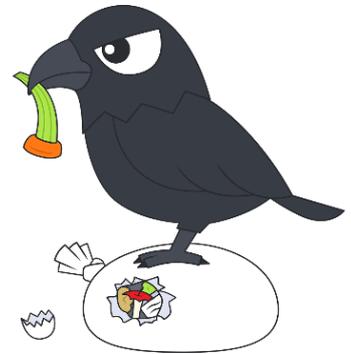
ごみ集積所のカラス被害を防ぐため、カラス対策にご協力をお願いします。



カラスの生態について

カラスはたいへん幅広い食性を持ち、動物、植物を問わないことから、市街地では生ごみや残飯をエサとして食べています。また、自然の少ない市街地は、カラスの天敵となる猛禽類が多くありません。

栄養価の高い生ごみを食べ物にしていること、天敵の少ない環境であることから、市街地では繁殖率が高まり、増えていったと考えられます。



カラス対策その① 生ごみを減らす

市街地のカラスは、生ごみや残飯をエサに暮らしていますので、それらを減らすことが効果的です。

カラス対策その② 生ごみを外から見えないように排出する

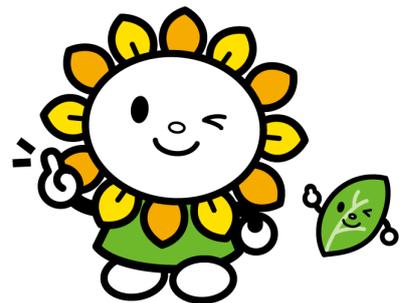
カラスは嗅覚ではなく主に視覚でエサを探し、赤っぽいものや濡れたものを狙っているといわれています。赤いものは肉、濡れたものは魚の肉に出会う確率が高い目印となっているためです。

生ごみを見えないようにして排出することも効果的です。

カラス対策その③ カラス除けネットを使う

カラスとごみの接点を断つため、ネットをごみ袋にかけることも効果的です。次の点に注意してご使用ください。

- ネットからごみ袋がはみ出ない。
- ネットの上や外にごみ袋を置かない。
- ごみ袋の下にネットを挟み込むなど、ネットが外れないようにする。





ごみ集積所用カラス除けネットの配布について

カラス除けネットは、市役所環境課及び環境事業センターで配布を行っています。

ご希望のかたは、開庁時間内に窓口へお越しください。

カラス対策その④ 折りたたみ式ごみボックスを設置する

カラス除けネットを使用しても、ごみが荒らされてしまう場合は、蓋つきの折りたたみ式ごみボックスの設置が有効です。



折りたたみ式ごみボックスを使用する際は、次の点に注意して行ってください。

- ごみ袋を入れた後、蓋をきちんと閉める。
- 剪定ごみ、布団など、生ごみを含まないごみはボックスの中に入れない。
- 使用しないときは、折りたたんでおき、通行の邪魔にならないようにする。



折りたたみ式ごみボックス購入費補助金の交付

市では、折りたたみ式ごみボックスの購入に際して、補助金の交付を行っています。折りたたみ式ごみボックスの補助金については、条件等（事前協議が必要）がありますので、尾張旭市ホームページの該当ページを御覧ください。

【問い合わせ先】

尾張旭市 環境事業センター（東部浄化センター内）

住所 尾張旭市下井町勿内2346-6

電話 0561-52-8000（直通）

尾張旭市 環境課

住所 尾張旭市東大道町原田2600番1